



コロナだけじゃない！ノロにも要注意

11月16日、枚方市駅で予防キャンペーン

11月16日(月)午後2時から、京阪枚方市駅周辺でノロウイルス食中毒予防啓発街頭キャンペーンを実施する。ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒が流行期を迎えるこの時期に毎年行っているもので、市職員や大阪食品衛生協会枚方支部支部員、枚方市保健所公衆衛生協力会会員らが予防方法などを記載したチラシやウェットふきん約1000個を配布する。市キャラクター「ひこぼしくん」も応援に駆けつける。雨天決行。

★ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は一年を通して発生しているが、11月頃から増加し始め、12月～翌1月の冬季が発生のピークになる。ノロウイルスは感染力が強く、手指や食品などを介して経口で感染することでヒトの腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを引き起こす。健康な大人は軽症で数日後には回復するが、子どもや高齢者などは重症化したり、嘔吐物を誤って気道に詰まらせたりして死亡することもある。大阪府内のノロウイルス食中毒の患者数は昨年505人(食中毒患者全体の約26%)で、今年は9月末までで14人となっている。

★防ぐためには、「十分な手洗いを行い二次汚染を防止する」、「食品を中心部までしっかり加熱しウイルスを失活させる」ことが重要。ノロウイルスにはワクチンや抗ウイルス剤はなく、感染した場合は対症療法のみとなる。子どもや高齢者は脱水症状を起こしたり体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行うことが必要。止しゃ薬(下痢止め薬)は回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましい。

★キャンペーンはノロウイルスの流行期に入ったことを広く市民に注意喚起し、感染予防方法を啓発することで、患者の発生を防ぐことが目的。11月16日(月)午後2時から30分程度、京阪枚方市駅周辺で横断幕・のぼり等を設置し、通行人へ啓発リーフレットやノロウイルス対策クイズが印字されたウェットふきん等を約1000個配布する。保健衛生課の担当者は「食中毒は夏に発生するものと思われがちですが、ノロウイルス食中毒は冬場に発生頻度が高いため注意が必要です。新型コロナウイルスもノロウイルスも十分な手洗いで感染を予防することができます」と話している。

<お問い合わせ>

健康部 保健所 保健衛生課 ☎:072-807-7624 FAX:072-845-0685